

平成 27 年度

社会福祉法人 猪苗代福祉会  
事業報告書

社会福祉法人 猪苗代福祉会

- 特別養護老人ホーム いなわしろホーム
- いなわしろホーム 指定短期入所生活介護事業  
指定介護予防短期入所生活介護事業
- いなわしろホーム デイサービスセンター指定通所介護事業  
指定介護予防通所介護事業
- いなわしろホーム 指定訪問入浴介護事業  
指定介護予防訪問入浴介護事業
- いなわしろホーム 指定居宅介護支援事業
- 障害福祉サービス事業
- 猪苗代町よりの受託事業
  - ・訪問入浴サービス事業
  - ・在宅高齢者生活支援ショートステイ事業

〒969-2661 福島県耶麻郡猪苗代町大字三郷字寺南 7962 番地 1

TEL. 0242-66-4123 (代)

FAX. 0242-66-4027

TEL. 0242-66-4124 (デイサービスセンター、訪問入浴介護事業所)

TEL. 0242-66-4125 (居宅介護支援事業所)

FAX. 0242-66-4126 (居宅介護支援事業所)

# 内容

I	社会福祉法人 猪苗代福社会事業報告 .....	1
II	総務課事業報告 .....	7
III	第一事業課事業報告 .....	18
	i 生活支援領域 .....	20
	ii 健康支援領域 .....	25
IV	第二事業課事業経過報告 .....	28
	1 在宅福祉支援領域.....	28
	2 居宅介護支援領域.....	31

# I 社会福祉法人 猪苗代福社会事業報告

平成 28 年 3 月 31 日現在

## 1.理事会開催状況

- 第 1 回 : 平成 27 年 5 月 25 日(月)
- 第 2 回 : 平成 27 年 8 月 20 日(木)
- 第 3 回 : 平成 27 年 9 月 14 日(月)
- 第 4 回 : 平成 27 年 11 月 27 日(金)
- 第 5 回 : 平成 28 年 3 月 28 日(月)

## 2.評議員会開催状況

- 第 1 回 : 平成 27 年 5 月 25 日(月)
- 第 2 回 : 平成 27 年 8 月 10 日(月)
- 第 3 回 : 平成 27 年 9 月 14 日(月)
- 第 4 回 : 平成 27 年 11 月 30 日(月)
- 第 5 回 : 平成 28 年 3 月 28 日(月)

## 3.法人監事監査実施

年度監査 : 平成 27 年 5 月 23 日(土)  
八子宗平並びに由井忠幸両監事により実施。  
渡辺公認会計士立ち会い。

中間監査 : 平成 27 年 11 月 26 日(木)  
八子宗平並びに由井忠幸両監事により実施。  
渡辺公認会計士立ち会い。

## 4.入所検討委員会開催状況

- 第 1 回 : 平成 27 年 6 月 12 日(金)
- 第 2 回 : 平成 27 年 9 月 17 日(木)
- 第 3 回 : 平成 28 年 1 月 19 日(火)

## 5.福祉サービス第三者評価受審 (社会福祉法人福島県社会福祉協議会)

受審日 : 平成 27 年 9 月 30 日(水),10 月 1 日(木)

評価者 : 2 名

### 【評価結果】

◇特に評価の高い点

理学療法士、作業療法士等の配置による積極的な機能向上訓練や個別ケア、口腔ケアなどの「サービスの質の向上への取り組み」ならびに、ターミナルケア体制が整備され利用者や家族の要望に沿った柔軟なケアを提供しているなど「終末期の対応」について高く評価された。

◇改善を求められる点

職員一人ひとりの習熟度に応じた年間研修計画を策定し、到達度を客観的に評価するな

ど「職員の質の向上に向けた体制づくり」ならびに、関係機関や地域住民との連携を行う中でニーズを把握し、その結果に基づいて地域貢献活動に取り組むなど「地域の福祉向上のための取り組み」が課題として挙げられた。

#### 6. OJT 制度導入事業（福島県社会福祉施設人材定着促進補助事業）

人材育成理念「共育」

会 議：平成 27 年 6 月より毎月 1 回

指導者等中堅職員研修：平成 27 年 9 月 7 日（月）、10 月 30 日（金）

新任職員フォローアップ研修：平成 27 年 9 月 10 日（木）

##### 【成果】

リポーターを明確にし、育成を図ったことにより職場環境の改善と職員の意欲が向上した。その結果平成 27 年度に雇用した 10 名全員が定着している。

#### 7. 派遣介護員受け入れ（福島県緊急雇用創出事業）

期 間：平成 27 年 9 月 7 日より 6 ヶ月

人 数：1 名

備 考：平成 28 年 3 月 7 日直接雇用

期 間：平成 27 年 10 月 1 日より 6 ヶ月

人 数：1 名

備 考：平成 28 年 4 月 1 日直接雇用予定

#### 8. 腰痛予防マネジメント（一般財団法人竹田健康福祉財団）

会 議：毎月 1 回

平成 27 年 4 月より腰痛予防マネジメント委員会にてアンケートにもとづいて「システム面」「物的環境面」「職場環境面」から原因と改善策を協議し取り組んでいる。

#### 9. 労務管理相談（佐藤知恵子社労士）

平成 27 年 6 月 3 日（水）、7 月 31 日（金）、8 月 25 日（火）、9 月 17 日（木）

11 月 12 日（木）、12 月 24 日（木）、平成 28 年 1 月 25 日（月）、2 月 16 日（火）

3 月 10 日（木）計 9 回実施

労務管理勉強会（主任対象）：平成 27 年 9 月 17 日（木）

#### 10. 高齢者雇用管理相談（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 佐藤明社労士）

平成 27 年 6 月 3 日（水）

#### 11. 苦情受付

苦情受付件数 6 件（内特別養護老人ホーム 3 件、短期入所生活介護事業 2 件、通所介護事業 1 件）。平成 28 年 2 月の未処理 1 件については、建物の構造上の問題であるため今後検討していく。

月別	人数	件数	処理件数
平成 27 年 4 月	2	2	2
5 月	0	0	0
6 月	1	1	1
7 月	1	1	1
8 月	0	0	0
9 月	0	0	0
10 月	0	0	0
11 月	0	0	0
12 月	0	0	0
平成 28 年 1 月	0	0	0
2 月	1	2	1
3 月	0	0	0

苦情・要望の内容	対応
<p>■職員の対応に関わる事項（1件） 優しく対応して欲しい。</p>	<p>・各種会議において職員に周知徹底することで改善を図った。</p>
<p>■ケアに関わる事項（4件）</p>	<p>・介護技術と声かけについて707会議で見直しを図った。 ・ケアの統一について職員間で改善を図った。 ・転倒等のリスク低減のためソフト面ハード面の見直しを行った。 ・夜間帯の様子を家族等と共有できるように24時間面会体制を整備した。</p>

第 1 回 : 平成 27 年 10 月 7 日(水) 第三者委員 2 名出席

第 2 回 : 平成 28 年 2 月 15 日(月) 第三者委員 2 名出席

利用者視点に立ったサービス向上ならびにリスクマネジメントの一環として機関紙等により情報を公開した。

## 12. リスクマネジメント

### 【体制】

リスクマネジメント委員会を設置している。事故発生の際は都度現場検証し振り返りを行うとともにインシデント報告とアクシデント報告を集計し傾向を明らかにし、対策を検討、実施することで再発防止に努めている。

## ■転倒・転落・ずり落ち

### ○集計と分析

- ・ヒヤリハット・事故の65%を転倒・転落・ずり落ちが占めている。昨年度は70%であった。
- ・転倒は同じ利用者が繰り返す傾向にある。
- ・例年同様4月に事故が多い。

### ○考察

介護者の見守り不足や離床センサーの入れ忘れ、他者の介助で場を外すことなどにより、利用者の動きに気づかず発生することが多い。その他、季節的に生じる利用者の不穏やその日の体調、下剤などの影響もあるようである。

4月に事故が多いのは、新任職員や異動職員が入るための利用者の状態把握不足、指導的職員の新任職員等への指導により利用者への配慮不足、また環境の変化による利用者の不穏が原因として考えられる。

5月、6月と慣れるにつれ事故は減少するが7月に増える。これは「いつも大丈夫だから」という思いで見守りを怠っている場合もあり、介護者の慣れが原因と考えられる。7月の事故の反省で8月、9月は事故が減るといった周期が毎年繰り返されている。

### ○対策

- ・居室担当者は必ず担当利用者の状況を把握し、注意点や要望を他職員に伝える。各フロアで一丸となり取り組み、チェック表などで確認する。
- ・夜勤前に各フロア夜勤者間で、各フロアからの申し送りや注意点などの情報交換をする。

## ■異食

### ○集計と分析

車椅子を自力操作ができる利用者3名が繰り返している。3名とも認知症の進行が原因だが、対策をしても新たなものを異食してしまう。

### ○考察

- ・認知症の進行で何でも口にしてしまう。
- ・自分で絶えず動きたがるため、目が届かないことがある。
- ・異食防止のため環境に留意はしているが、異食するものが多様である。

### ○対策

- ・離床時の余暇活動を充実し、余暇活動をしながら見守りを強化していく。
- ・全職員、全フロアの協力で環境整備をする。
- ・手の届く高さへの装飾物の展示等を控え、職員が不在になる場合には物を置かない。
- ・介護者がその場を離れる際は、他職員の協力を得る。
- ・他フロアとの連携を図り、他フロア利用者の見守りや誘導も行う。

## ■裂傷

### ○集計と分析

類天疱瘡や皮膚トラブルのある利用者、拘縮悪化による移乗困難の利用者5名程度が介助の際に表皮剥離等を繰り返している。

### ○考察

- ・上記の内3名は少し皮膚が擦れる程度でも表皮剥離をしてしまう。
- ・基本2人介助対応しているが、それでも痣や表皮剥離の発生がある。
- ・1人介助になるときもあり、2人介助よりもリスクが高い。
- ・移乗の際、介助者側ではぶつけている感覚がなくても、フットレスト等に少し触れただけでも痣になったり、表皮剥離したりしていることもあった。
- ・介護員の不注意による表皮剥離の報告も多い。

#### ○対策

- ・どの利用者のどこが裂傷しやすいかワカスタッフで確認し、全職員で情報共有し対応する。
- ・裂傷し易い箇所はドレッシングテープで保護する。
- ・2人介助対象者は1人で介助せず、2人介助の方法も統一する。
- ・移乗、体位交換、ムツ交換について生活介護リハビリや講習会をとおしスキルアップを図る。

### ■誤薬

#### ○集計と分析

苗字だけを確認し与薬する利用者を間違えるケースがあった。また、完全与薬せず、お膳に置いたままの状態にしたために他利用者が服用してしまったということもあった。

#### ○考察

- ・慣れでフルネームを確認せず、また、服薬時に本人への名前確認もされていない。
- ・利用者が服薬を終えたことを確認していない。
- ・ダブルチェックになっていない。
- ・思い込みでうっかりしてしまったとのことだが、誤薬はうっかりでは済まない事故であるという認識が不足している。

#### ○対策

- ・全ての利用者の顔と名前を把握する。把握していないと誤薬のリスクが高くなる。
- ・フルネームで本人確認し、ダブルチェックする。
- ・完全与薬で飲み終わりの確認をする。

### ■書類等紛失・誤配

#### ○集計と分析

書類等の紛失や入れ間違いがあった。

#### ○考察

- ・書類の整理整頓不足。
- ・単独での作業でチェック体制がなかった。

#### ○対策

- ・日頃から書類等の整理整頓行う。
- ・重要書類はダブルチェックする。
- ・行動改善計画の作成、実施、モニタリングをとおしての責任意識の醸成と教育。

## 13.社会貢献

社会福祉法人等利用負担軽減制度利用 長期入所者 1件

低所得者の利用料支払相談に応じ、手続き等保険者と連携を取りながら支援している。

14.会津労働基準監督署臨検

臨 検 日 :平成 27 年 11 月 4 日 (水)

時間労働の適正化ならびに賃金控除協定の締結

15.障害者職場定着支援（職場支援員の配置）

- ・精神障害者：職場支援員 1 名
- ・身体障害者：職場支援員 1 名

以上

II 総務課事業報告

平成 28 年 3 月 31 日現在

1.人事状況

①求人実績

■求人

求人No	職種	雇用形態	求人数	登録先	備考
1	生活相談員	正職員	1	当法人ホームページ	終了。
2	介護員	正職員	2	仁愛看護福祉専門学校	新卒求人。終了。
3			1	郡山健康科学専門学校	新卒求人。終了。
4		嘱託職員	2	ハローワーク会津若松,町役場	-
5		臨時職員	2	ハローワーク会津若松 町役場	-
6		パート職員	2		-
7		看護員	正職員	1	ハローワーク会津若松 町役場
8	臨時職員		1	-	
9	パート職員		2	-	
10	機能訓練指導員	正職員	2	ハローワーク会津若松,町役場	PT、OT。
11			1	郡山健康科学専門学校	新卒求人。終了。
12		嘱託職員	2	ハローワーク会津若松,町役場	PT、OT。
13	介護補助員	パート職員	1	ハローワーク会津若松	障害者向け求人。終了。
14	介護補助員	パート職員	複数名	新聞折込	短時間パート。
15	事務員	臨時職員	1	ハローワーク会津若松,町役場	終了。

求人情報は上記に加え当法人ホームページにも掲載している。

また、今年度は介護職員ならびに機能回復訓練士の求人について郡山健康科学専門学校主催の就職説明会(8/28)に職員2名を派遣し、当法人の職場環境や魅力について説明を行った。

なお、下記の採用状況により現在はNo.4-10、12、14を求人している。

■採用(応募総数17名、採用総数14名)

求人No	選考日	応募数	採用数	職種	雇用形態	備考
12	4/3(金)	1	1	介護補助員	パート職員	4/20より雇用。
照会	5/15(金)	1	1	機能訓練指導員	正職員	6/1採用(7/31まで試用期間)。
照会		1	1	看護員	臨時職員	6/1より雇用。
照会	6/8(月)	1	1	介護員	パート職員	6/22より雇用,外国人。
照会	6/23(火)	1	1	介護員	臨時職員	10/1より雇用。

照会	8/4(火)	1	1	機能訓練指導員	正職員	8/10採用(9/30まで試用期間)。
照会		1	1	介護員	パート職員	9/1より雇用。
2		1	1	介護員	正職員	4/1採用。
照会		1	1	生活相談員	正職員	4/1採用。
照会	2/12(金)	2	2	介護員	臨時職員	派遣。3/7,4/1より雇用。
15	3/18(金)	3	0	事務員	臨時職員	ハローワークより。
照会	3/22(火)	1	1	介護補助員	パート職員	当法人での雇用履歴あり同日雇用。
15	3/29(火)	1	1	事務員	臨時職員	町役場より。6/1雇用。
照会		1	1	介護補助員	パート職員	5/1雇用。

照会による申し込みが多数を占めている。問い合わせがあった場合、当法人ホームページ掲載の求人情報を確認していただいている。利用者との適切な関わりや記録の重要性を鑑み、昨年度に引き続き作文試験を実施し、応募者の介護観や仕事に対する姿勢、文章力を考査している。

平成28年度4月採用1名(介護員)は仁愛看護福祉専門学校への求人からであり、介護実習生として受け入れ、指導を行った人材である。今年度4月採用4名(介護員)も同様であり、実習指導をととした人材の確保ができています。今後も実習をマネジメントし、充実を図っていく。

## ② 出処進退

### ■ 入職状況

No	入職日	職種	雇用形態	人数	備考
1	4/1(水)	介護員	正職員	4	新規専門卒、介護福祉士所有

その他、上記①求人実績-採用参照。

また、福島県緊急雇用創出事業による派遣介護員を9/7、10/1より1名ずつ受け入れている。

### ■ 登用実績

No	適用日等	職種	人数	内容	事由
1	4/1(水)	主任(生活相談員)	1	特別昇給	対象資格の取得。
2		介護員	1		
3		介護員	1		
4	7/1(水)	介護員	2	正職員への登用	試用期間の満了。
5		介護員	1	特別昇給	対象資格の取得。
6	8/1(土)	機能訓練指導員	1	正職員への登用	試用期間の満了。
7	12/1(火)	介護員	1	臨時職員への登用	本人希望。
8	2/9(火),12(金)	介護支援専門員兼介護員	1	正職員への登用	対象資格所有。4/1より。
9	2/9(火),12(金)	介護員	1	正職員への登用	対象資格の取得。4/1より。
10	2/12(金)	介護員	2	臨時職員への登用	本人希望。4/1より。
11		看護員	1	臨時職員への登用	本人希望。4/1より。

## ■離職状況

No	離職日	職種	雇用形態	人数	事由	備考
1	4/10(金)	介護員	パート職員	1	契約満了	-
2	7/31(金)	介護補助員	パート職員	1	契約満了	-
3	12/10(木)	介護員	パート職員	1	自己都合	-
4	12/31(木)	看護員	パート職員	1	自己都合	-
5	1/31(日)	看護員	パート職員	1	自己都合	-
6	2/29(月)	介護員	嘱託職員	1	自己都合	-
-	3/31(木)	介護員	正職員	1	定年退職	再雇用(臨時職員)
7	3/31(木)	介護員	正職員	1	定年退職	-
8	3/31(木)	介護員	正職員	1	定年退職	-
-	3/31(木)	介護支援専門員	嘱託職員	1	定年退職	再雇用(臨時職員)
9	3/31(木)	介護員	パート職員	1	契約満了	-
10	3/31(木)	介護員	臨時職員	1	契約満了	-
11	3/31(木)	生活相談員	嘱託職員	1	契約満了	-
12	3/31(木)	介護員	臨時職員	1	契約満了	-

## ③人材育成

### ■プリセプターシップ



### ■読書感想文

- 3/19 第1回 山田詠美『僕は勉強ができない』  
 6/30 第2回 湯本香樹実『夏の庭』  
 8/17 第3回 柚木麻子『ランチのアッコちゃん』  
 10/20 第4回 梨木香歩『西の魔女が死んだ』  
 12/25 第5回 小川洋子『博士の愛した数式』  
 2/29 第6回 有吉佐和子『恍惚の人』

### ○体制

新任職員(原則臨時職員以上)を対象に、それぞれに主指導者となるプリセプターを付け、指導した。プリセプターと職員間の調整・総括を行う監督者に生活支援領域リーダーを1名を配置。パート職員にはプリセプターシップ制を適用していないが、担当者を付しOJTを図った。

また、観察力、分析力、推察力、文章力の向上を目的に平成27年4月より二月に一回読書感想文を課し、講評を行っている。年度中6回課したが、文章力について一定の基準を満たしている場合には課題数や文字制限の低減を行った。

なお、11月にはフォローアップ研修を実施し、3月には1年間の振り返りとして新任職員研修の内容についてのテストを実施した。

これらについて毎月の研修委員会にて進捗状況や課題などを確認し、対応を検討した。

### ○取り組み状況

監督者がステップ1,2,3からなる習熟チェックリストを作成。プリセプターに各項目を評価してもらい、クリアすることで次のステップへ進むことができる。ステップ1は社会人としての基本姿勢や介護等業務の基本について、ステップ2は当法人のルーティンワークについて、ステップ3はルーティンワークプラスアルファの取り組みについての内容になっている。ステップ2の終了は上期を予定していたが、提出物等の遅れがあるなど下期までかかりステップ3終了も年度末までかかってしまった。

読書感想文については、初回と比較すると回数を重ねる毎に観察力、分析力、要約力、表現力など文章力の向上が見て取れる。また、単純に文章力の鍛錬だけではなく、課題図書にはそれぞれ「価値観の多様性」「死生観」「働く姿勢」「援助観」「ケアの本質」「認知症」といったテーマがあり、講評を通じて社会福祉に携わる人として大切にしたい視点やメッセージを伝えた。

11月にはフォローアップ研修を実施し、3月には1年間の振り返りとして新任職員研修の内容についてのテストを実施し、グループワークを通してテスト内容のフィードバックを行った。

### ○課題と反省

- ・複数回の遅刻があった。
- ・提出物の期限がなかなか守られない。
- ・慣れによりただ業務をこなすだけで終わってしまい、主体的に業務に取り組めていない。
- ・新任職員に対し、感情をコントロールできず詰問調で高圧的な関わり方になる職員がいる。
- ・新任職員の負担が大きいのではないかと意見もあった。
- ・振り返りテストの結果、新任職員研修の内容が十分に理解されてないことが分かった。

理論よりも実践が重視されがちであり、今後理論教育を充実させ、理論と実践のバランスを取ることが望まれる。

### ○対応策

- ・複数回ルールが守られない場合行動改善計画を作成し、1ヶ月ごとに振り返りを行った。
- ・都度新任職員と既存職員の間に入り、双方のフォローを行っている。
- ・11月にこれまでを振り返るフォローアップ研修を、3月には1年の振り返りとしてテストを実施。来年度は今回の反省を踏まえ計画的に実施する。

### ■資格取得支援

No	対象資格	内容	対象者	備考
1	介護福祉士	受験対策講習受講助成 (1人につき2回義務免除)	2	他1名も合格し計3名資格取得。
2	介護支援専門員	受験案内取り寄せ助成	6	1名合格。
3	共通	会議室開放による学習支援	-	-

### ■実習等受入状況

#### ○内容別受入状況

No	期間	内容	派遣機関	受入事業所	受入数	延人数
1	6/1-25	介護実習Ⅱ	仁愛看護福祉専門学校	特養	2	32
2	6/24-25	福祉体験学習	東中学校	デイサービス	3	6
3	8/12	小中学校初任者研修	猪苗代町教育委員会	デイサービス	1	1
4	8/24-28	介護等体験(教員免許)	福島県社会福祉協議会	デイサービス	1	5
5	8/31-9/1	福祉体験学習	吾妻中学校	特養,デイサービス	10	20
6	9/1-10/27	介護実習Ⅲ	仁愛看護福祉専門学校	特養	2	58
7	11/9-13	介護等体験(教員免許)	福島県社会福祉協議会	デイサービス	1	5
計					20	127

○事業所別受入数

月	法人		特別養護老人ホーム		デイサービス		計	
	受入数	延人数	受入数	延人数	受入数	延人数	受入数	延人数
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	2	32	3	6	5	38
7	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	10	10	12	16	12	26
9	0	0	2	30	0	0	2	30
10	0	0	2	28	0	0	2	28
11	0	0	0	0	1	5	1	5
12	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	16	100	16	27	22	127

介護福祉士養成の介護実習については、実習生が目安をもって実習をスムーズに進められるよう、実習計画を立案し、随時振り返りを行い、指導を図った。

体験学習は、高齢者施設が初めてという研修生が多く、また、研修期間が短いことから「楽しかった」と感じてもらい、体験後も興味関心を持ってもらえるよう原則デイサービスでの受け入れを図った。

■障害者職場定着支援

No	障害区分	職種	雇用形態	人数	入職日	備考
1	精神障害	介護補助員	パート職員	1	H26.10.20	-
2	身体障害	介護補助員	パート職員	1	H27.4.20	-

No.1の従業員については業務をおおまかに説明し、細かいところは任意で良い加減で仕事をするということは難しく、そうしたところで他従業員との間で認識のずれが生じ、不穏になったり、数回他従業員とトラブルになった。そうした精神的不調と膝痛や腰痛などの身体的不調が重なり欠勤が多い。

本人の要望時など随時、面談を行い、精神的不調については、顔のこわばりや会話が噛み合わないなどの兆候が確認できるため、休憩や早退などの指示をし、身体的不調については早期受診を促している。また、業務マニュアル、タイムテーブルを作成し、業務の明確化を図った。さらに障害者就業・生活支援センター職員の巡回指導を月1回受け入れ、随時相談に乗っていただいている。

他従業員とのトラブルについては、他従業員の不適切な言動もトラブルの要因の一つであったため、その都度双方のフォローを行った。他従業員の障害への理解不足が本人と他従業員との摩擦を生じさせている要因でもあるため、12月職員会にて「障害者雇用と統合失調症への理解」と題し、精神障害についての勉強会を開催した。引き続き、随時の声かけや励ましなど受容的な関わりが必要である。

No.2の従業員については、重い物の持ち運びが難しいことから業務配慮し、リネン交換やオムツの在庫管理などを担っていただいている。

## 2.労務管理状況

### ①私傷病欠勤状況

No	期間	職種	業務配慮
1	3/1-6/2	介護員	復帰後夜勤業務のない領域への異動
2	8/1-31	看護師	本人と相談の上、パート時間の短縮
3	9/1-10/31	介護員	復帰後の夜勤免除および業務負担軽減
4	9/30	機能訓練指導員	-
5	1/4-14	介護員	復帰後しばらくの夜勤免除
6	1/26-2/12	介護員	復帰後しばらくの夜勤免除
7	断続的複数回	介護補助員	本人と相談の上パート時間の短縮ならびに労働時間帯の変更

### ②労働災害発生状況

No	発生日	職種	発生状況	業務配慮
1	1/17	介護補助員	階段の踏み外し	業務負担の軽減
2	2/13	介護員	利用者移乗介助中	-

### ③産休育休等取得状況

No	内容	期間	職種	備考
1	育児休業	27/3/4-28/3/31	機能回復訓練士	1/6-3/31まで延長
2	育児休業	27/3/6-8/31	介護員	復職後育児短時間勤務
3	産前産後休業	27/6/24-10/2	介護員	夜勤免除等業務負担軽減
	育児休業	27/10/3-10/31		復職後育児短時間勤務
4	産前産後休業	27/7/31-10/30	介護員	業務負担軽減
	育児休業	27/10/31-28/9/3		-
5	産前産後休業	2/26-5/31	介護員	夜勤免除等業務負担軽減

### ④腰痛予防への取り組み

#### ■腰痛予防マネジメント

##### ○内容

一般財団法人竹田健康財団が開発した腰痛予防マネジメント手法のモデル事業として、腰痛の原因を調査し、対策を立て、実施し、腰痛予防に法人全体で取り組む。

##### ○進捗

昨年度安全衛生委員会の部会として腰痛予防マネジメント委員会を立ち上げ、直接処遇職員を対象に腰痛アンケートを実施。アンケート結果から、腰への負担が大きい作業項目「ベッドと車いす間の移乗介助」と「ベッド上処置・介助」の2つを選定し、それぞれについて原因・改善策・達成期限を話し合い、平成27年4月より移乗介助マニュアルの作成、二人介助の徹底、介助バー購入、ラジオ体操の業務組み込みなどシステム面、物的環境面、職場環境面から改善策に取り組み、ほぼ毎月進捗状況を確認した。

## ○成果

選定した作業項目2つとも最も重い負担感が大幅に改善された。要因として「組織的取り組み」「テーマを絞ったこと」「負担要因の分析と対策が具体的であったこと」「月毎の進捗管理がなされたこと」「外部協力を得られたこと」が挙げられる。

## ○次年度の予定

上記作業項目での対策は一区切りとする。各フロア・領域で負担になっている作業項目は様々であるが、「立位からの各動作」「同姿勢を保ちがちな作業」が共通である。これを大きな項目として設定し、各フロア・領域1つずつ具体的な作業を選定し、次回委員会の際にその原因を挙げてもらい共有し、改善策を考える。

なお、腰だけでなく肘や手首などの痛みを訴える職員もいるため腰痛に限定せずに取り組む。

## ■役職員研修受講状況

### 施設外研修

< 役員 >

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
4/30	平成27年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会総会	ビッグパレットふくしま	施設長	1	平成26年度事業報告について他、講演「介護保険改正のポイントと経営戦略について」
5/11-12	平成27年度東北ブロック老人福祉施設大会	ホテルホトリヤン仙台	施設長	1	介護報酬改定を受けて
21	平成27年度猪苗代地区安全運転管理者協会定期総会	リステル猪苗代	施設長	1	猪苗代地区安全運転管理者協会定期総会
28	竣工祝賀会（特養・気生苑）	特養 気生苑	施設長	1	竣工祝賀会
6/9	平成27年度社会福祉法人等代表者会議	郡山マックス熱海	施設長	1	平成27年度監査方針等について、社会福祉法人制度について、社会福祉施設の運営について他
7/2	平成27年度福祉ナビに関する苦情解決研修会	ビッグパレットふくしま	施設長	1	苦情相談対応の留意点と説明責任他
7	安全運転管理者等講習会	ホテルリステル猪苗代	施設長	1	安全運転管理者等講習会
9	平成27年度福島県社協社会福祉法人経営者協議会総会及び社会福祉経営者セミナー	ザ・セレクト福島	施設長	1	平成26年度事業報告について他、講演「経営支援アドバイザー-派遣事業(労務診断)について」
15	平成30年の医療・介護同時改定に向けた経営戦略セミナー	あすか会館東京日本橋	施設長	1	平成27年度の介護報酬改定と平成30年に向けた地域の介護戦略、介護施設のトップ戦略と人的資源管理のポイント
10/2	平成27年度第1回介護技術等に関する講習会	福島県男女共生センター	施設長	1	自分の職場に求められているのはリーダーか？管理職か？他
23	介護にまつわるセミナー	迎賓館グランパス	施設長	1	2015介護報酬改定に対する対策と3年先を見据えて介護経営者が今やるべきこと
29	新社会福祉法人会計基準セミナー	福島県農業総合センター	施設長	1	新たな社会福祉法人制度について、社会福祉法人会計基準等について他
11/9	平成27年度社会福祉法人理事研修	郡山マックス熱海	施設長 法人理事	1 3	今、社会福祉法人に求められるもの
16-17	平成27年度会津地区老人福祉施設協議会施設長研修会	いいいたて福祉会・NPO法人「Jin」・南相馬福祉会	施設長	1	いいいたて福祉会 いいいたてホーム視察・NPO法人「Jin」及び浪江町請戸地区視察・南相馬福祉会 福寿園視察
12/10-11	平成27年度東北ブロックカンファレンス（in 福島）	ザ・セレクト福島	施設長	1	基調報告・課題提起、分科会
1/15	平成27年度社会福祉法人制度改革対応セミナー	ザ・セレクト福島	施設長	1	各法人における社会福祉法改正への対応～施行に向けた準備～
3/4	猪苗代町高齢者施設防災連絡協議会及び設立記念意見交換会	猪苗代消防署 芳本茶寮	施設長	1	参加団体の決定、正式名称の決定、規約・会則の決定、各種役員選出他
5	仁愛看護福祉専門学校謝恩会	会津若松ワシントンホテル	施設長	1	謝恩会
9	平成27年度社会福祉法人経営者協議会総会・福祉人材確保推進セミナー・改正社会福祉法対応会計監査人監査セミナー	ビッグパレットふくしま	施設長	1	平成27年度事業中間報告及び収入支出補正予算(案)について他
11	平成27年度【管理者向け】福祉の人材採用・定着UP!セミナー	会津若松市役所(ビッグパレット)	施設長	1	新人職員の採用、定着の取り組みについて、キャリアアドバイザー配置について他
17	「キャリアパスと人材マネジメント」人事制度セミナー	会津若松市勤労青少年ホーム	施設長	1	キャリアパス制度について、人材マネジメントについて

< 職員 >

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
5 11	平成27年度老人福祉施設職員研修Ⅰ	郡山エラックス熱海	介護員	1	コーチングとは、コーチングにおける心構え他
	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・猪苗代町在宅高齢者福祉サービス事業について・意見交換
	平成27年度キャリアパス制度	郡山エラックス熱海	主事兼生活相談員	1	社会福祉法人における経営と人材施策、目指すべき組織体制と人材施策他
20-22	社会福祉法人経営者研修会 「人事管理コース」	中央福祉学院(ワフォス湘南)	生活相談員	1	社会福祉法人制度改革をめぐる動向、課題とこれからの社会福祉法人における人材確保等
6 1	平成27年度老人福祉施設職員研修Ⅱ	郡山エラックス熱海	介護員	1	求められるコミュニケーション力、聴くスキル傾聴のポイント他
	平成27年度福祉の人材採用力UP！セミナー	ビッグパレットふくしま	副施設長	1	施設・事業所発展のための人材採用術、自施設・事業所らしさ(魅力)を考える
	平成27年度算定基礎届事務講習会	会津アビオスペース	生活相談員	1	算定基礎届と月額変更届について
	平成27年度介護力向上講習会①/6	ジョーカー本館ビル (宮城県仙台市)	副施設長 介護員	1 2	身体的自立支援の基礎知識と理論(講義)
	平成27年度介護保険事業者集団指導	会津大学	介護支援専門員 介護員 生活相談員 主事兼生活相談員	1 1 1 2	平成27年度介護保険業者指導方針について、指導・監査における主な指摘事項について、介護保険室からの説明、労働局からの説明、公益財団法人介護労働安全センターからの説明
	介護報酬規定後対策セミナー	福島県農業総合センター	主事兼生活相談員	1	報酬改定による影響・経営戦略、適正人員での介護事業経営
	平成27年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会在宅部会研修会	ルネッサンス中の島	看護師 機能回復訓練士	1 1	高齢者施設におけるリスクマネジメント、福祉サービスの効果的な記録
7 1-3	平成27年度中堅職員研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理、福祉サービスの基本理念と倫理、チーム力と問題解決他
	平成27年度社会福祉法人事務長等研修	郡山エラックス熱海	副施設長	1	社会福祉法人において期待される社会福祉法人運営について
	平成27年度福島県老人福祉施設協議会施設部会事務担当職員研修会	母畑温泉 八幡屋	主事兼生活相談員	1	社会福祉施設における新会計基準の決算会計処理
	平成27年度初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理、福祉サービスの基本理念と倫理他
	平成27年度身体拘束廃止に向けた実務看護職員研修	福島県看護会館みらい	看護師	1	施設における身体拘束廃止に向けた取り組みについて
	平成27年度認知症高齢者対応研修	郡山エラックス熱海	介護支援専門員	1	高齢者の心理と行動、認知症について基本的な理解と行動への対応
	平成27年度主任介護支援専門員研修	ビッグパレットふくしま	介護支援専門員	1	主任介護支援専門員の役割と視点・地域援助技術・ケーススタディ・事例研究及び事例指導方法他
	マイナンバー制度事業者向け説明会	郡山市役所	生活相談員	1	マイナンバー制度の概要、国税分野・社会保障分野でのマイナンバー制度について
	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	4	ケース検討・学習会・意見交換
	赤十字防災教室	日本赤十字社福島県支部	副施設長	1	災害時の炊き出し・防災コミュニケーションワークショップ・災害時の救急方法
	平成27年度特定給食施設等講習会	猪苗代町農村環境改善センター	管理栄養士	1	栄養管理について、衛生管理について、その他
	平成27年度指定障害福祉サービス事業者集団指導	下郷ふれあいセンター	主事兼生活相談員	1	平成27年度指定障害福祉サービス事業者等指導指針について他
	平成27年度福祉サービス第三者評価研修会	ビッグパレットふくしま	副施設長 看護師	1 1	福祉サービス第三者評価の意義と活用方法について、福祉サービス第三者評価を受審して他
	平成27年度初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理、福祉サービスの基本理念と倫理他
	普通救命講習会	猪苗代消防署	介護員 生活相談員 機能回復訓練士	1 1 2	普通救命救急
8 6	平成27年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る事務説明会	ホテル辰巳屋	副施設長	1	馬主社会福祉財団助成事業に係る事務説明会
	平成27年度主任介護支援専門員研修	ビッグパレットふくしま	介護支援専門員	1	事例研究及び事例指導方法他
	平成27年度初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	2	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理、福祉サービスの基本理念と倫理他
	平成27年度介護力向上講習会②/6	ジョーカー本館ビル (宮城県仙台市)	介護員 機能回復訓練士	2 1	事例検討-水分ケアを中心に 報告-施設内研修体制について
	平成27年度初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	3	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理、福祉サービスの基本理念と倫理他
31-9/4	平成27年度福島県認知症介護実践者研修(第4回)	会津大学	介護員	1	認知症介護実践者研修
9 1-2	平成27年度地域介護専門職員研修相談援助面接研修(記録編)	福島県男女共生センター	生活相談員	1	対人援助職に求められる記録と0、はSOAPで表現する、アセスメントと記録、短時間で適切に表現する
	平成27年度東北ブロッコ老人福祉施設研究会	秋田県民会館他	介護員 管理栄養士	1 1	科学的介護が目指すケアと専門職の育成、食から目指す個別ケアとは他
	平成27年度地域介護専門職員研修相談援助面接研修(記録編)	福島県男女共生センター	介護支援専門員	1	対人援助職に求められる記録と0、はSOAPで表現する、アセスメントと記録、短時間で適切に表現する
	平成27年度主任介護支援専門員研修	ビッグパレットふくしま	介護支援専門員	1	人事管理・経営管理、対人管理指導

	15	マインバー対応版「給与大臣」実務セミナー	コラッセ福島	生活相談員	1	マインバー対応版「給与大臣」で行う実務処理について
	16-18	平成27年度チームワーク研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	チームワークとしてのキャリアデザイン自己管理、リーダーシップの醸成、意図的・計画的職員指導他
	17	介護支援専門員勉強会（地域包括支援センター）	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・意見交換
	18	平成27年度機能訓練担当者研修会	会津若松リソントホテル	機能回復訓練士	1	集団体操の意味と効果、集団体操の一例他
	23	第17回全国抑制廃止研究会東京大会	法政大学市ヶ谷キャンパス	介護支援専門員	1	全体講演「抑制廃止への道のり リーダーの役割」ワークショップ「ケアの質をチームで高める」
	29	平成27年度職場におけるメンタルヘルス研修会	ユラックス熱海	副施設長	1	福祉職場でのメンタルヘルスについて、傾聴技法について、セルフケアと自律訓練法について
	30	認知症介護実践者研修報告会〔第4回〕	会津大学	介護員	1	認知症介護実践者研修報告会
10	1-2	平成27年度職場研修担当職員研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	これからの福祉人材育成と職場研修、職場研修の考え方と推進方法、OJT活性化施策の推進他
	3-4	介護福祉士実習指導者講習会①/2	南東北総合センター	介護支援専門員	1	介護の基本、実習指導の理論と実際、介護過程の理論と指導方法
	17-18	介護福祉士実習指導者講習会②/2	南東北総合センター	介護支援専門員	1	スーパービジョンの意義と活用及び学生理解、実習指導の方法と展開、実習指導における課題への対応他
	22-23	平成27年度管理職員研修	福島県総合社会福祉センター	第二課長	1	管理職員としてのキャリアデザインと環境整備、リーダーシップの醸成、人材アセスメント他
	23	平成27年度介護力向上講習会③/6	ジョーカー本館ビル(宮城県仙台市)	介護員	2	事例検討-歩行を中心に
	23	平成27年度第1回テーマ別研修	会津若松リソントホテル	機能回復訓練士 介護支援専門員 機能回復訓練士	2 2 1	心の健康チェックポイント、メンタルヘルスを軽減・緩和して元気に過ごそう
	23	福島県議会議員一般選挙に関する不在者投票事務説明会	会津若松合同庁舎	生活相談員	1	事務説明会
	26-27	平成27年度介護職員(4年未満)研修会	清幾山倶楽部	介護員	1	これからの高齢者ケアを考えてみよう！
	27	平成27年度退職共済事業事務説明会(午後の部)	ビックパレットふくしま	生活相談員	1	福祉医療機構退職手当共済制度事務説明、マインバー法施行に伴う事務の変更
	29	平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修会(基礎編)	ユラックス熱海	看護員	1	安全配慮義務について、苦情解決制度の意義と本質、苦情申出人の理解
	30	平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修会(応用編)	ユラックス熱海	副施設長	1	安全配慮義務について、苦情解決制度の意義と本質、苦情申出人の理解
11	12	ストレスチェック及び過重労働防止対策説明会	会津アビオスペース	看護員	1	ストレスチェック制度の内容について、過重労働防止対策の推進について
	18	年末調整説明会	会津アビオスペース	生活相談員	1	年末調整のしかた、給与所得の源泉徴収表等の法定調書の作成と提出の手引き等
	18	自家用自動車整備管理者等講習会	ユラックス熱海	看護員	1	整備管理者等の関係法令、環境問題及び実務等について
	18	介護支援専門員勉強会(地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・意見交換
12	7	制度対応セミナー-社会福祉法人のためのマインバー	ビックパレットふくしま	生活相談員	1	マインバー制度の概要、事業者がとるべき対応とは他
	8	介護サービス事業者向けリスクマネジメントセミナー	会津稽古堂	介護員	1	介護サービス事業者におけるリスクマネジメント、事故発生予防のポイントとリスク管理体制
	9	平成27年度職場研修担当職員フォローアップ研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	10/1-2フォローアップ研修
	11-12	平成27年度地域介護専門職員研修相談援助面接研修(初級編)	福島県男女共生センター	生活相談員	1	相談援助専門職に必要とされる資質について、相談援助専門職の心得と対人援助の基本視点他
	15	平成27年度介護力向上講習会④/6	ジョーカー本館ビル(宮城県仙台市)	介護員	2	事例検討-総括研修
	16	平成27年度次世代人材育成研修①	ビックパレットふくしま	副施設長	1	社会保障制度改革が目指す医療・介護・福祉の姿
1	20	平成27年度次世代人材育成研修②	ビックパレットふくしま	副施設長	1	社会福祉法人に必要な経営企画室
	20	介護支援専門員勉強会(地域包括支援センター)	地域福祉交流センター	介護支援専門員	3	ケース検討・意見交換
	26	猪苗代町高齢者施設防火防災座談会	猪苗代消防署	副施設長 介護員 生活相談員	1 1 1	長崎市認知症高齢者グループホーム火災から見る高齢者施設の対応について、猪苗代町内における災害、緊急出動の現状と今後の課題について
	26-29	平成27年度福島県介護支援専門員実務研修【前期】	ビックパレットふくしま	介護員	1	支援専門員実務研修
	28	精神障害者・発達障害者雇用促進セミナー	コラッセ福島	総務主任		精神障害者等の雇用取組み事例発表を通じての雇用及び職場定着、理解促進
2	5	平成27年度介護力向上講習会⑤/6	ジョーカー本館ビル(宮城県仙台市)	介護員	2	事例検討-排泄・歩行を中心に
	15	平成27年度第2回テーマ別研修	会津アビオスペース	介護員 機能回復訓練士	2 1	介護の中にあるリハビリテーション(講義・事例発表・実技)
	18-19	平成27年度福島県社協老施協第2回総会及び施設長・事務長等合同研修会	母畑温泉 八幡屋	生活相談員	1	現場の声が制度をつくる、人材確保事業について、社会福祉法人におけるマインバーの取扱い他
	19	平成27年度会津地域認定調査従事者(現任)研修会	会津大学	介護支援専門員	7	介護保険制度・要介護認定関係データ、認定調査の基本的な考え方注意ポイントについて
	22-23	平成27年度全国経営協高齢者福祉事業経営セミナー	パシフィコ横浜	副施設長	1	高齢者福祉事業に係る動向と全国経営協の取組み

3	2-4	平成27年度福島県介護支援専門員実務研修【後期】	ビックバレットふくしま	介護員	1	介護支援専門員実務研修
	4	平成27年度仁愛看護福祉専門学校卒業式	仁愛高等学校	副施設長	1	卒業式
	4	猪苗代町高齢者施設防災連絡協議会設立記念意見交換会	芳本茶寮	副施設長	1	意見交換会
	16	内定者向け社会人準備セミナー	会津大学	介護員 生活相談員	1 1	社会人としての考え方、ルールの遵守～社会のルール・職場のルール～
	16	介護支援専門員勉強会（地域包括支援センター）	地域福祉交流センター	介護支援専門員	3	ケース検討・平成27年度振り返り、平成28年度の計画について
	17	平成28年度介護福祉科講師会及び実習指導者会	仁愛看護福祉専門学校	介護員	1	実習指導者会
	17	平成27年度福祉の職場内定者向け導入研修	会津若松ワントンホテル	介護員 生活相談員	1 1	福祉・介護の仕事の魅力とやりがい、ビジネスナーについて、利用者とのコミュニケーション他
	25	平成27年度介護力向上講習会⑥/6	ジョーカー本館ビル(宮城県仙台市)	介護員	1	事例検討・排泄・歩行を中心に
	26	ばんだい地域包括ケアネットワーク勉強会	猪苗代町役場	生活相談員	1	地域医療介護の課題と対応策について、介護事業所の現状と課題、グループワーク事例研究

### 施設内研修

実施月日	研修名	講師	職種	人数	内容	
4	1-2	平成27年度新任職員研修	各担当者	介護職員	2	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・ターミナルケア・栄養食事形態・OA取扱い・労働安全衛生教育他
	10	職員全体会	社会保険労務士 佐藤知恵子 リーダー介護員 大島美香 副施設長 一ノ瀬慶子 リーダー介護員 渡部佐知子	全職種	64	働きがいのある職場づくりについて 平成26年度介護力向上の取組みについて 平成27年度事業計画及び予算について 腰痛予防対策について
5	27. 29. 30	5月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子	全職種	88	平成26年度事業報告・平成26年度決算報告・福祉サービス第三者評価事業の流れ
6	1	平成27年度新任職員研修	各担当者	介護職員 介護員補助 機能回復訓練士	2	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・ターミナルケア・栄養食事形態・OA取扱い・労働安全衛生教育他
	4	平成27年度新任職員研修	ヒューマンマネジメント桃紀行 阿部信行	機能回復訓練士 介護職員 介護員補助	6	コミュニケーション技術の強化
	29. 30	6月職員会	リーダー介護員 鈴木香 総務主任 宮澤重嗣 介護員 渡部鐘夫	全職種	76	介護力向上研修の伝達 コンピュータの管理について 人材育成理念「共育」キャッチ宣言
7	9	感染症対策委員会 「食中毒予防勉強会」	花王プロフェッショナル・サービス㈱	全職種	35	食中毒予防について
	15	感染症対策委員会 「食中毒予防勉強会」	東京サテライトイカル事業本部	全職種	26	食中毒予防について
	23. 27. 30	7月職員会	第二事業課課長 橋谷田一枝 副施設長 一ノ瀬慶子	全職種	76	介護保険事業における記録の在り方 利用者のプライバシー保護マニュアルの制定 平成26年度介護職員処遇改善実績
8	18	平成27年度新任職員研修	各担当者	機能回復訓練士 介護職員	2	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・ターミナルケア・栄養食事形態・OA取扱い・労働安全衛生教育他
	18. 24. 29	8月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子 看護員 小坂橋慎一 総務主任 宮澤重嗣	全職種	68	社会福祉法人猪苗代福祉会職員倫理規程について・身体拘束廃止実務看護職員研修の伝達・マインパー制度の概要
9	7	中堅職員研修1/2	福島県立テックアカデミー 長尾新嗣	役職員 新人トレーナー	18	人材を重要な資産と考えのもと、新人育成する、解決する課題か、説得が必要なかの判断と縦への報告
	8	平成27年度新任職員研修	各担当者	介護員	2	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・ターミナルケア・栄養食事形態・OA取扱い・労働安全衛生教育他
	10	新人職員フォローアップ研修	ヒューマンマネジメント桃紀行 阿部信行	全職種	9	自分の意見や考えをはっきり言える自立した職員、悪いことの報告を素直に言える職員、他
	25. 29	9月職員会	総務主任 宮澤重嗣 介護支援専門員 青木瑞恵	全職種	47+27	マインパー制度について
10	8. 14. 20	10月職員会	介護員主任 小坂橋哲也 副施設長 一ノ瀬慶子 機能回復訓練士 棚本啓史	全職種	37+30+13	第42回入所検討委員会、苦情解決委員会の取組み・サービス評価の課題、向上委員会の取組みについて
	30	中堅職員研修2/2	福島県立テックアカデミー 長尾真嗣	役職員 新人トレーナー	18	横の連携を取り、一人で自己完結しないこと、リーダーシップとサブリーダーシップ、的確な指示出し
11	2	新人職員フォローアップ研修	笠間順子・小坂橋哲也・小坂橋栄子・宮澤重嗣・青木瑞恵・棚本啓史	介護員 看護員 機能回復訓練士	10	感染症・褥瘡対策、リスクマネジメント、経口維持加算、家族及び外部への関り、施設ケアプラン、機能訓練について
	6. 12. 18	11月職員会	介護支援専門員主任 五十嵐隆久 介護員主任 小坂橋哲也 第一事業課課長 笠間順子	全職種	37+26+18	リスクマネジメントについて 事故の統計について 感染症について
	12. 14. 18	12月職員会	総務主任 宮澤重嗣 副施設長 一ノ瀬慶子	全職種	48+25	障害者雇用について 福祉サービス第三者評価の公表について 職員面接について、職員の労務管理について
	17	褥瘡勉強会	ゼリア製薬 西浦	看護職員	-	褥瘡について（内服薬を中心に）
1	5. 8	1月職員会	施設長 菊川一雄 副施設長 一ノ瀬慶子	全職種	40+31	内部登用について 労務管理の見直しについて
2	17	OJT制度導入事業・新人グループワーク	参加職員	機能回復訓練士 介護職員 看護職員	9	就業前のルティンについて

	17	ヘッドセンサーデモ（勉強会）	パラムウントヘッド®(株)	機能回復訓練士 介護職員 看護職員	-	ヘッドセンサーデモ
	18.22	2月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子 介護員リーダー 鈴木香	全職種	32+30	介護力向上研修の周知
3	18	平成27年度内定者向け新任職員研修	各担当者	介護員 生活相談員	2	認知症が・生活リハビリ・口腔が・排泄が・褥瘡が・栄養食事形態・OA取扱い・労働安全衛生教育他

### 講師派遣

実施月日	派遣事業名	場所	職種	講師	内容	
4	14	平成27年度機能訓練事業①	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
5	12	平成27年度機能訓練事業②	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
6	10	平成27年度機能訓練事業③	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
	25	猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第一回】	猪苗代町農村環境改善センター	介護支援専門員	安部真由美	高齢者健康づくり、一人暮らしや寝たきりの 高齢者へ料理情報提供
7	21	平成27年度機能訓練事業④	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
	27	猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第二回】	猪苗代町農村環境改善センター	介護支援専門員	安部真由美	高齢者健康づくり、一人暮らしや寝たきりの 高齢者へ料理情報提供
8	25	平成27年度機能訓練事業⑤	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
9	15	平成27年度機能訓練事業⑥	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
10	9	平成27年度機能訓練事業⑦	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
11	10	平成27年度機能訓練事業⑧	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
	10	猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第一回】	猪苗代町農村環境改善センター	管理栄養士	小坂橋栄子	高齢者健康づくり、一人暮らしや寝たきりの 高齢者へ料理情報提供
	26	猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第二回】	猪苗代町農村環境改善センター	管理栄養士	小坂橋栄子	高齢者健康づくり、一人暮らしや寝たきりの 高齢者へ料理情報提供
12	8	平成27年度機能訓練事業⑨	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
1	19	平成27年度機能訓練事業⑩	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
2	9	平成27年度機能訓練事業⑪	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導
3	8	平成27年度機能訓練事業⑫	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	牛木邦夫	基本動作、日常生活動作 運動療法、レクリエーション等の指導

以上

### III 第一事業課事業報告

平成 28 年 3 月 31 日現在

今年度は5つの領域目標を軸に職員一丸となり、自己啓発や全体のスキルアップをしてまいりました。また、新人職員や緊急雇用、障害者雇用などの取り組みもしてまいりました。

概ね目標はクリアしましたが今後もより強いチームワークで利用者様が笑顔で生きがいの持てる生活の支援に努めていきたいと思っております。

#### 1. 昨年度からの取り組み状況

##### ①フロア制

十分に定着している。毎月開催されるフロア会議において、利用者個々のケアについて意見をもちより、利用者本意のケアに向けて各フロア一体となって取り組んでいる。

今後は決められた時間の食事やオムツ交換、トイレ誘導ではなく、フロアの中で利用者に合わせた時間でケアが出来るようになっていきたい。また、自由に動ける職員を配置し、利用者のニーズに即したケアをするリハビリケアにも取り組んでいく。

##### ②個別ケア

2年目の取り組みで、今年も2名の職員が県外開催の介護力向上講習に参加した。昨年の水分強化やトイレでの排泄、布パンツへの移行など昨年に引き続き実践した。

排泄ケア、水分ケアの状況は下記の表を参照。

##### ③生活介護リハビリ

昨年に引き続き、一般社団法人「ふくしまをリハビリで元気にする会」理事長で作業療法士である岡本先生に月4回訪問していただき、介護技術や身体の仕組みなどを教わりながら、利用者一人ひとりにあった体位交換、車椅子への移乗方法、嚥下困難者への対応の方法について学んでいる。今年からは体圧分散シート(ベッド上でも車椅子上でもシートを入れると身体のどの部位にどれだけの圧がかかっているかPCに即座に表示される。)を使用し、安楽な臥床ポジションづくりや座位姿勢確保につながってきている。

平成28年2月15日には会津地区老人福祉施設協議会の研修会で、当施設の取り組みがクローズアップされ、講師として研修会に参加し会津地区のモデル施設となっている。今後はもっと広域な場面でいならしめるホームの取り組みを紹介していく予定である。

##### ④口腔ケア

月4回歯科衛生士、月1回歯科医師の往診を行っている。その指導をもとに職員が毎食後の口腔ケアを実践し、経管栄養者等1日1回の口腔ケアで口臭はほとんどなくなった。誤嚥性肺炎予防や食事形態改善にもつながっている。

#### ■排泄ケアの取り組み状況

		取り組み前		取り組み後	移行数
排泄 状況	1F	オムツ排泄	→	リハビリパンツ(日中)使用でのトイレ排泄	19
		リハビリパンツ使用でのトイレ(PTイレ)排泄		布パンツ使用でのトイレ排泄	8
	2F	オムツ排泄または リハビリパンツ使用でのトイレ排泄		リハビリパンツ(日中)使用でのトイレ排泄	9
				布パンツ使用でのトイレ排泄	7

昨年から引き続きオムツでの排泄ではなく、トイレやポータブルトイレでの排泄が増えてきている。2年前まではほとんどオムツ使用で、トイレ誘導者も現在の1/4程度だったので、現在も伸び続けている。

機能回復訓練士の増員やフロアケア、生活介護リハビリが好結果の要因と考えられる。

## ■水分摂取強化の取組状況

○共通目標: 食事以外で1,500cc/日

		取組み前	→	取組み後	目標達成者数	備考
平均 摂取量	1F	836cc		1,286cc	17/49名	平均1,000cc/日未満8名。
	2F	1,136cc		1,412cc	13/20名	平均1,000cc/日未満3名。

昨年からの取組みだが、摂取量は今年度の春にピークなり、現在は少し下降している。原因は新規入所者の伸び悩みと、身体的に水分摂取が難しくなっている利用者が増えたこと、職員のマンリ化で積極性が無くなったことが原因と思われる。

また、身体状況や認知機能の低下で摂取量が上がらない方については、いろいろと試行錯誤しているが増量は困難な状況である。

## 2.今年度からの取組み

### ①リハビリスタッフの増員

理学療法士2名、作業療法士1名、鍼灸按摩師1名、看護師1名の計5名体制となり、各フロアに担当機能回復訓練士を配置したことで、各フロアとの連携が図りやすくなった。また、女性スタッフもいるため利用者への対応に深みがでている。

個別や集団のコンサルトやアセスメント、モニタリングが充実し、利用者の求めるケアの提供が出来るようになってきている。さらに一人ひとりの利用者に関わる時間が増えたことで、以前より様々なアプローチができ自立支援につながっており、ほとんどの利用者に機能向上がみられてきている。

### ②第三者評価事業受審

受審をきっかけにマニュアル等の見直しができる。また、自己評価ならびに第三者評価、受審結果の公表により、職員個々において以前と比べ職員としての自覚が増してきている。

## 3.要介護度の推移

### ■要介護度の改善

要介護度の変化		変化幅		人数
要介護	3 → 2	1	段階	1
	4 → 3	1		2
	5 → 4	2		3
	5 → 2	1		1
計				7

### ○要因

- ・入所による生活環境の改善や生活介護リハビリの提供で利用者自身の自立度が高まったり、BPSDが減少したためと考えられる。
- ・前回認定時急性期状態であり重い要介護認定となったが、次第に全身状態が安定したためと考えられる。
- ・経口摂取から経管栄養に変更となり、食事摂取面での介護量が軽減したためと考えられる。

■要介護度の重度化

要介護度の変化			変化幅		人数	
要介護	2	→	3	1	段階	1
	3	→	4	1		2
	3	→	5	2		2
	4	→	5	1		2
計					7	

○要因

- ・認知機能の低下に伴う生活機能の低下のため。
- ・疾病の悪化に伴う身体機能の低下のため。
- ・老化現象による身体機能及び認知症悪化のため。

i 生活支援領域

1. 出身地別入所・退所状況

市町村別	性別	現 員			平成27年度の異動状況					
					入 所			退 所		
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
猪苗代町		11	58	69	3	18	21	5	13	18
会津美里町		1	0	1	0	0	0	0	0	0
会津若松市		0	4	4	0	1	1	0	1	0
会津坂下町		0	1	1	0	0	0	0	0	0
北塩原村		2	1	3	0	0	0	0	1	0
郡山市		0	2	2	0	0	0	0	1	0
合 計		14	66	80	3	19	22	5	16	21

2. 月別入所・退所状況

月別	性別	入 所			退 所		
		男	女	小計	男	女	小計
平成27年	4月	1	2	3	2	0	2
	5月	0	1	1	0	1	1
	6月	0	2	2	0	3	3
7月	0	4	4	0	5	5	
8月	0	2	2	0	0	0	
9月	0	1	1	0	2	2	
10月	0	1	1	0	1	1	
11月	0	2	2	1	1	2	
12月	0	1	1	0	0	0	
平成28年	1月	0	1	1	1	1	2
	2月	1	0	1	1	0	1
	3月	1	2	3	0	2	2
合 計		3	19	22	5	16	21

3. 退所理由

区別 \ 性別	男	女	計	
家族引取り	0	0	0	
他施設へ	0	0	0	
長期入院	0	1	1	
死 亡	施設内(看取)	2	11	13
	入院後	3	4	7
	自 宅	0	0	0
そ の 他	0	0	0	
計	5	16	21	

4. 利用者性別・年齢別構成

○最高齢104歳 ○最年少58歳 ○平均年齢88.25歳（男性82.2歳/女性89.5歳）

年齢別 \ 性別	男	女	計	年齢別 \ 性別	男	女	計
65歳未満	1	0	1	85～89歳	1	16	17
65～69歳	0	1	1	90～94歳	2	19	21
70～74歳	1	2	3	95～99歳	1	12	13
75～79歳	1	3	4	100歳以上	0	4	4
80～84歳	7	9	16	計	14	66	80

5. 日常生活状況

ADL内容	食 事					移乗動作				移動手段				入浴		
	自立	見守り	一部介助	全部介助	経管栄養	自立	見守り	一部介助	全部介助	歩行	歩行器等	車椅子		機械浴	ンチエバースイ	個浴
												普通型	その他			
実数(人)	10	27	21	10	12	3	12	23	42	2	2	58	18	28	21	31
割合(%)	12	35	26	12	15	4	15	29	52	3	3	72	22	35	26	39

ADL内容	日中排泄			夜間排泄			離床センサー		身体拘束	
	トイレ	Pトイレ	ベツト上	トイレ	Pトイレ	ベツト上	あり	なし	あり	なし
実数(人)	41	4	35	3	14	63	32	48	0	80
割合(%)	51	5	44	4	18	78	40	60	0	100

6. 機能回復訓練状況

(1) 長期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実人数	77	79	81	76	78	80	79	78	80	81	80	80	949
延回数	970	982	971	1040	1094	1,055	1,066	1,065	1158	1107	1024	1133	12665

(2) 短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実人数	72	74	74	76	70	76	71	76	65	64	63	66	847
延回数	489	556	532	583	557	541	560	576	635	589	589	603	6810

7. 医療保険加入状況等

性別 \ 保険別	後期高齢者医療保険	国民健康保険	共済組合保険	生活保護	特定疾患医療受給者証	精神障害者手帳	身体障害者手帳	重度医療受給者
男	13	1	0	0	1	1	10	6
女	62	0	1	3	2	0	25	16
計	75	1	1	3	3	1	35	22

8. 身体障害者手帳所持状況

性別 \ 種別	1級1種	2級1種	2級2種	3級2種	4級2種	5級2種	6級2種	計	不所持
男	6	1	1	0	1	0	1	10	4
女	11	5	1	1	3	1	1	25	41
計	17	6	2	1	4	1	2	35	45

9. 入所前状況

性別 \ 内訳	家庭	病院	施設	その他	計
男	0	8	6	0	14
女	24	20	22	0	66
計	24	28	28	0	80

10. 身元引受人状況

続柄	男	女	計
配偶者	0	3	3
子供	12	57	69
兄弟姉妹	1	2	3
いところ	0	0	0
甥姪	1	1	2
叔父叔母	0	0	0
後見人ほか	0	1	1
孫	0	2	2
計	14	66	80

11. 年金受給状況

※併給者2名

性別 \ 種別	国民年金	厚生年金	無年金	家族後見人管理	不明	計
男	0	0	0	14	0	14
女	2	2	3	59	0	66
計	2	2	3	73	0	80

12. 要介護度状況

平均要介護度4.10（男性4.00/女性4.12）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	2	3	2	7	14
女	0	3	10	29	24	66
計	0	5	13	31	31	80

13. ボランティア受入状況（奉仕作業、慰問等）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計	8	5	12	6	93	45	4	31	63	72	34	2	375

14. 家族面会状況

※続柄には義理を含む

月	続柄	配偶者	子	孫・ひ孫	親戚	その他 (友人等)	計	1日平均
4		52	274	63	46	16	451	15.03
5		52	349	92	54	25	572	18.45
6		22	358	53	52	24	509	16.97
7		53	315	45	38	15	466	15.03
8		53	337	150	42	24	606	19.55
9		45	291	61	36	10	443	14.77
10		49	253	74	32	16	424	13.68
11		51	297	54	22	27	451	15.03
12		42	251	52	31	36	412	13.29
1		48	322	110	37	33	550	17.74
2		62	317	45	19	16	459	15.83
3		72	293	84	40	18	507	16.35
計		601	3,657	883	449	260	5,850	16.03
昨年度		216	4,214	1,048	446	114	6,038	16.54
前年比		385	-557	-165	3	146	-188	-0.52

15. 行事報告※

※施設にて企画したものを“行事”としているため、ボランティアによる訪問交流は含めていません

月	日	項目	場所	参加者
平成27年	4月	25日（土）PM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	5名
		26日（日）AM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	5名
		27日（月）AM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	4名
		27日（月）PM 園外散策（お花見）	観音寺川、名家ほか	5名
		29日（水）PM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	5名
6月	18日（木）	運動会	正面玄関前駐車場	82名、ボランティア10名
7月	16日（木）	手持ち花火大会	正面玄関前駐車場	62名
8月	6日（木）	夏まつり	正面玄関前駐車場	96名、ボランティア65名
9月	16日（水）	敬老会	さぎそう・ななかまど	65名、ボランティア33名
10月	20日（火）	AM 園外散策（紅葉狩り）	秋元湖、檜原湖ほか	5名
		23日（金）PM 園外散策（紅葉狩り）	天鏡台1周	5名
12月	3日（水）	もちつき会	さぎそう・ななかまど	83名、ボランティア25名
12月	17日（水）	クリスマス会	さぎそう・ななかまど	84名、ボランティア33名
平成28年	1月	9日（土）団子さし	①さぎそう・ななかまど ②ひまわり	①62名 ②19名
		15日（金）歳の神	職員駐車場 さぎそう・ななかまど	69名
2月	4日（木）	豆まき会	さぎそう・ななかまど	ボランティア32名

16. 長期入所・短期入所実績及び前年度比較表

平成26年度				平成27年度			
月	長期入所	短期入所	計	月	長期入所	短期入所	計
4	2,211	581	2,792	4	2,299	575	2,874
5	2,210	627	2,837	5	2,278	612	2,890
6	2,261	618	2,879	6	2,258	604	2,862
7	2,374	627	3,001	7	2,230	611	2,841
8	2,464	583	3,047	8	2,340	569	2,909
9	2,421	616	3,037	9	2,229	545	2,774
10	2,388	581	2,969	10	2,314	564	2,878
11	2,306	560	2,866	11	2,294	577	2,871
12	2,402	574	2,976	12	2,433	637	3,070
1	2,386	536	2,922	1	2,428	594	3,022
2	2,138	507	2,645	2	2,238	589	2,827
3	2,393	541	2,934	3	2,273	602	2,875
計	27,954	6,951	34,905	計	27,614	7,079	34,693
前年比		長期入所	-340	短期入所	128	計	-212

[長期入所]

○現状と課題

- ・ 昨年は原発事故の特例入所者がいたため81床だったが、現在は80床になっている。
- ・ 入院が長期化している。
- ・ 看取り介護実施後、退所者が増え入所が追いついていかず空床期間がある。
- ・ 長期入所が原則要介護3以上からとなり、多床室の調整が難しい。
- ・ 団塊の世代が要介護状態となるのは5年後からと言われており、現在は入所待機者が減少している。
- ・ 個室希望者が増えてきている。
- ・ 会津地区に特別養護老人ホームの新設があり、当施設上位待機者数名が入所された。

○改善策

- ・ 待機者の調査を前もってに行い、入所希望を再確認する。
- ・ 入所希望されない方については先送りし、下位者を入れていく。
- ・ ベッドシェアリング等も視野に入れて対応していく。

[短期入所]

○現状と課題

- ・ 上期はマイナスであったが、下期（特に冬期）にロングステイ者が増え実績が回復した。
- ・ 月の半数以上利用者のほとんどが長期入所となるので、一時的な落ち込みがある。
- ・ 新規の伸びはあるが、1人あたりの月間利用日数が増えていかない。
- ・ 現在会津地区全体でもショートステイは伸び悩みんでおり、会津若松市においては利用者獲得で各事業所が四苦八苦している状況である。介護老人保健施設やグループホームの開所や介護老人保健施設と病院による利用者の囲い込みが要因と思われる。
- ・ 利用者率が高かった際に、ショートステイ利用までのプロセスの変更や問題行動者や感染症保持者の受け入れをしなかった関係で、他事業者から新規利用者が紹介されないことがある。
- ・ 4人部屋しかないため、男女の調整が難しいことがある。

○改善策

- ・ 長期の空床を有効利用する。
- ・ 他居宅介護支援事業所への営業活動をする。
- ・ 地域へのPR活動として、介護教室などを開催する。

## ii 健康支援領域

### 1. 病院受診状況

診療科 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内科	8	3	10	10	8	9	7	3	4	3	1	6	72
神経内科	1	3	2	0	0	1	0	0	1	0	1	0	9
外科	6	2	3	4	6	6	9	2	2	2	4	6	52
整形外科	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	1	1	9
形成外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
消化器科	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	5
眼科	0	1	0	0	0	2	3	2	1	1	2	1	13
循環器科	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6
皮膚科	0	1	1	1	4	2	3	3	4	2	1	2	24
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	18	17	18	18	19	19	19	18	18	18	17	17	216
歯科	8	2	1	0	0	2	4	8	12	6	3	0	46
救急	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
計	42	34	36	36	41	41	47	38	44	33	30	35	457

### 2. 入院状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	3	7	5	7	1	6	4	1	1	2	1	4	42
延日数	102	164	154	215	55	154	100	6	14	54	8	69	1,095

### 3. 栄養管理状況

#### (1) 食事摂取基準算定

年齢	性別	人数	熱量 (kcal)		蛋白質 (g)	
			推奨量	人数計	推奨量	人数計
50-69	男	1	2,100	2,100	60	60
	女	0	1,650	0	50	0
70-	男	15	1,850	27,750	60	900
	女	63	1,450	91,350	50	3,150
推定平均必要量				1,534		52
摂取基準				1,550		54

## (2) 月別提供料

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
熱量 (kcal)		1,626	1,638	1,635	1,628	1,626	1,619	1,611	1,644	1,650	1,651	1,651	1,626	1,634
蛋白質 (g)		59.0	59.6	60.1	59.6	59.1	59.8	58.3	60.8	61.0	60.4	60.6	59.4	59.8
脂肪 (g)		41.7	43.2	42.3	42.1	41.8	41.5	41.1	43.2	43.5	43.7	43.9	42.2	42.5
カルシウム (mg)		609	629	636	641	618	651	691	713	677	690	657	660	656
鉄 (mg)		8.5	8.2	8.4	8.3	8.2	8.7	8.9	8.7	8.7	8.4	8.4	8.6	8.5
ビタミンC (mg)		77	79	77	75	76	91	75	74	80	74	76	69	77
塩分 (g)		8.1	8.3	8.1	8.2	8.4	8.4	8.2	8.3	8.6	8.4	8.5	8.4	8.3

## (3) 摂取状況

		前期		後期	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
主食	飯	15	19	12	15
	おにぎり	1	1	0	0
	軟飯	16	20	17	21
	全粥	31	39	29	36
	全粥ミキサー	5	6	11	14
	経管	11	14	11	14
	計	79	99	80	100
副食	常食	22	32	15	22
	きざみ食	25	37	30	43
	超きざみ食	14	21	13	19
	ミキサー食	7	10	11	16
	計	68	100	69	100
提供量	常量	9	13	3	4
	ハーフ食	23	34	27	39
	主食ハーフ食	19	28	19	28
	主食小盛	16	24	20	29
	主食大盛	1	1	0	0
	計	68	100	69	100
代替、 栄養補助食品	ヨーグルト	6	9	6	9
	ヤクルト	8	12	6	9
	増粘剤	18	26	19	28
	栄養補助食品ゼリー	2	3	4	6
	栄養補助食品ドリンク	2	3	1	1

(4) 療養食ほか

項目		前期	後期
糖尿病食	1,400kcal	1	0
	1,200kcal	2	3
	1,000kcal	2	1
塩分制限食		2	2
経口維持加算		18	25
経口移行食		1	0
ワーファリン食		2	2

(5) 栄養ケアマネジメント

程度	前期		後期	
	人数(うち経管栄養)	割合(%)	人数(うち経管栄養)	割合(%)
低リスク	35	44	42	53
中リスク(内経管)	36(8)	46	30(8)	38
高リスク(内経管)	8(3)	10	7(3)	9

リスクの内容		前期	後期
中リスク	アルブミン低値(3.6g/dl以下)	16	9
	BMI低値(18.5未満)	10	11
	食事摂取量不良(75%以下)	2	2
	経管栄養食	8	8
高リスク	アルブミン低値(3.0g/dl以下)	3	4
	褥瘡形成	3	2
	体重減少率高値(5%以上/月)	2	1

内容		年度内のリスク変動					
		高→中	中→低	高→低	低→中	中→高	低→高
アルブミン値	改善		7				
	低下				1	2	
BMI	改善		1	1			
	低下				2		
褥瘡	治癒						
	形成						1
食事摂取不良	改善		1				
	低下				2		
経管栄養食	開始				1		
	終了						

以上

IV 第二事業課事業経過報告

平成 28 年 3 月 31 日現在

1 在宅福祉支援領域

a) ティービース事業

1. 要介護度別利用実績

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	男	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	4	4	25
	女	5	6	6	6	5	5	6	7	7	5	5	6	69
	小計	6	7	7	7	6	6	8	10	10	8	9	10	94
要支援2	男	2	2	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	36
	女	7	8	9	8	8	7	8	8	8	9	11	9	100
	小計	9	10	12	11	11	11	12	11	11	12	14	12	136
要介護1	男	8	7	6	7	7	5	4	4	4	4	5	5	66
	女	29	31	28	28	30	29	30	30	29	30	28	29	351
	小計	37	38	34	35	37	34	34	34	33	34	33	34	417
要介護2	男	11	11	11	10	10	10	9	8	9	9	9	8	115
	女	19	19	20	20	20	22	22	25	25	24	21	23	260
	小計	30	30	31	30	30	32	31	33	34	33	30	31	375
要介護3	男	5	4	4	5	4	6	6	5	4	3	4	4	54
	女	13	13	14	12	12	11	12	12	12	12	11	13	147
	小計	18	17	18	17	16	17	18	17	16	15	15	17	201
要介護4	男	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	女	10	9	10	10	10	10	10	8	7	7	6	4	101
	小計	10	9	10	10	10	11	11	8	7	7	6	4	103
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	男	27	25	25	26	25	27	26	23	23	22	25	24	298
	女	85	87	88	86	87	86	89	91	89	88	83	85	1044
	小計	112	112	113	112	112	113	115	114	112	110	108	109	1342
利用者 延人数	男	177	175	170	177	154	168	173	153	172	168	171	164	2022
	女	507	544	555	573	579	543	570	549	525	525	483	527	6480
	合計	684	719	725	750	733	711	743	702	697	693	654	691	8502

2. 要介護度別平均年齢

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要支援1	男	85.33	85.42	85.50	85.58	85.67	85.75	83.54	83.39	83.47	83.56	84.54	84.63	84.33
	女	90.98	89.69	89.78	89.86	89.22	89.30	88.97	89.12	89.20	91.32	88.12	87.88	89.27
	平均	90.04	89.08	89.17	89.25	88.63	88.71	87.61	87.40	87.48	88.41	86.53	86.58	88.01
要支援2	男	82.46	82.54	84.81	84.89	84.97	83.17	83.25	73.47	83.54	83.64	83.72	83.81	83.73
	女	83.70	84.19	84.59	83.57	83.66	83.63	83.82	83.91	83.99	84.17	86.52	86.39	84.45
	平均	83.43	83.86	84.65	83.93	84.02	83.46	83.63	83.79	83.87	84.03	85.92	85.74	84.26
要介護1	男	83.41	81.57	81.06	83.42	83.50	87.03	84.56	84.65	84.73	84.81	84.70	86.22	83.91
	女	86.97	87.15	86.99	86.87	87.39	87.26	87.28	86.97	87.24	87.38	87.25	87.64	87.20
	平均	86.20	86.12	85.94	86.18	86.66	87.23	86.96	86.69	86.93	87.08	86.86	87.43	86.68
要介護2	男	85.26	85.34	85.42	84.83	84.92	81.58	83.23	82.74	83.45	84.80	82.45	81.76	83.92
	女	89.71	89.44	90.13	89.90	90.14	90.19	90.27	89.70	89.79	89.98	89.55	89.62	89.87
	平均	88.08	87.94	88.46	88.21	88.40	87.50	88.23	88.02	88.11	88.57	87.42	87.59	88.04
要介護3	男	87.52	86.46	86.54	87.75	87.44	87.75	87.83	87.20	87.19	86.42	86.58	85.94	87.14
	女	91.28	89.23	88.84	88.83	88.92	88.72	89.08	89.17	89.25	89.56	89.21	89.67	89.33
	平均	90.23	88.58	88.33	88.51	88.55	88.38	88.67	88.59	88.79	88.93	88.51	88.79	88.74
要介護4	男	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	97.17	97.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	97.21
	女	88.23	88.81	88.94	89.02	89.11	90.16	89.22	90.71	91.00	91.08	92.03	92.31	89.78
	平均	88.23	88.81	88.94	89.02	89.11	90.80	89.95	90.71	91.00	91.08	92.03	92.31	89.92
要介護5	男	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	女	89.00	89.08	89.17	89.25	89.33	89.42	89.50	89.58	89.67	89.75	89.83	89.92	89.46
	平均	89.00	89.08	89.17	89.25	89.33	89.42	89.50	89.58	89.67	89.75	89.83	89.92	89.46
計	男	84.92	84.24	84.48	85.05	84.96	84.93	85.06	84.22	84.34	84.69	84.05	84.12	84.60
	女	88.39	88.06	88.19	88.04	88.22	88.40	88.31	88.26	88.41	88.60	88.42	88.61	88.32
	平均	87.55	87.21	87.37	87.34	87.49	87.56	87.57	87.45	87.58	87.82	87.41	87.62	87.49

### 3. 車両運行実績

車種 月別	走行距離 (km)			
	ハイース1	ハイース2	ステップ° 5	ステップ° 6
4	1,050	758	1,269	1,092
5	1,131	1,096	1,544	1,173
6	1,015	1,070	1,618	1,193
7	1,003	1,112	1,468	1,248
8	1,162	1,040	1,529	1,340
9	1,009	1,059	1,506	1,161
10	1,065	1,054	1,910	1,120
11	967	855	1,619	1,160
12	1,064	155	1,390	1,261
1	1,050	0	1,494	1,266
2	949	0	1,309	1,257
3	998	337	1,481	1,308
計	12,463	8,536	18,137	14,579

#### b) 訪問入浴介護事業

##### 1. 月別利用実績

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者実数	13	15	15	17	17	15	15	12	15	13	13	14	174
延実施日数	21	18	22	22	21	19	21	19	22	19	20	22	246
延利用回数	56	61	71	79	82	68	67	50	62	56	58	60	770
1日平均	2.6	3.3	3.2	3.6	3.9	3.5	3.2	2.6	2.8	2.9	2.9	2.7	3.1
登録者数	15	17	16	17	17	16	16	13	16	15	14	15	187

##### 2. 地区別登録利用者

地区	吾妻	長瀬	翁島	猪苗代	千里	月輪	計
男	0	1	1	1	0	0	3
女	3	4	3	1	1	0	12
計	3	5	4	2	1	0	15

##### 3. 年齢別登録利用者

年齢	～59	60～69	70～79	80～89	90～	計
男	1	2	0	0	0	3
女	1	0	0	3	8	12
計	2	2	0	3	8	15

##### 4. 車両運行実績

(単位：km)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
走行距離	723	688	762	844	879	743	756	732	748	657	610	649	8,791

事業実施日 246 日 平均走行距離 732 km/月

##### 5. 要介護度別利用者

要介護度	1	2	3	4	5	障害者	計
人数	1	1	1	3	7	2	15

要支援  
0名

## 2 居宅介護支援領域

利用者の能力に応じて可能な限り自宅において家族とともに安心してその人らしい生活を送ることができるよう、利用者本人の人生観等を踏まえつつ、生活に対する意向と家族の介護負担を考慮に入れながら、ケアプランの作成に努めた。サービスの提供にあたっては、各サービス提供事業所との連携を図るとともに、主治医などの指導を仰ぎながらチームでの支援に努めた。また、よりよいサービスが提供できるよう内外の勉強会や研修会への参加を通して資質向上に努めた。

### 1. 要介護認定訪問調査実施状況

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H26		31	36	32	45	26	25	22	19	33	29	29	39	366
H27		43	53	60	48	49	48	41	42	37	39	41	36	537

保険者よりの調査依頼数は、前年対比で146.7%となっている。

### 2. 居宅サービス計画作成実績

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H26		175	176	173	175	175	178	177	180	176	169	173	182	2,109
H27		185	187	187	185	189	187	189	180	181	179	173	174	2,196

今年度の計画作成件数は、2,196件で前年対比104.1%となっており、介護支援専門員一人当りの月計画作成平均件数は、36.6件である。

### 3. 計画作成依頼登録数

性別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	増減
男 性	継続	68	69	68	67	68	66	63	61	60	59	59	61	769	
	新規	1	1	0	1	1	0	1	1	3	1	4	1	15	
	終結	0	2	1	0	3	3	3	2	4	1	2	6	27	
	小計	69	68	67	68	66	63	61	60	59	59	61	56	757	△ 12
女 性	継続	163	166	167	168	164	164	163	162	168	166	163	165	1,979	
	新規	6	4	4	2	3	3	5	6	2	3	3	4	45	
	終結	3	3	3	6	3	4	6	0	4	6	1	7	46	
	小計	166	167	168	164	164	163	162	168	166	163	165	162	1,978	△ 1
合計		235	235	235	232	230	226	223	228	225	222	226	218	2,735	△ 13

以上